

令和元年度事業報告

事務局

4月上旬

会員名簿確認及びアンケートの実施

4月25日（木）

第1回役員会・理事会（館林高校）

○協議事項

- (1) 平成31年度役員人事(案)について
- (2) 理科教育功労者の推薦(案)について
- (3) 総会について
- (4) 研究大会について
- (5) 歓送迎会について
- (6) その他

5月12日（日）

平成30年度日本理化学協会第3回全国理事会・研究協議会（東京理科大学森戸記念館）

○全国理事会

○研究代表者研究協議会

講演「探究活動の高大接続と科学技術人材育成」

講師 東京大学大学院理学系研究科

教授 西原 寛 氏

5月31日（金）

令和元年度理化学部会総会・研究大会（群馬県総合教育センター402室）

○総会

- (1) 平成30年度事業報告
 - (2) 平成30年度決算報告、監査報告
 - (3) 令和元年度本部役員選出
 - (4) 令和元年度書記・会計の委嘱・顧問・名誉会員の推薦
 - (5) 令和元年度各部担当地区の決定・地区役員の選出
 - (6) 令和元年度授業研究会担当地区について
 - (7) 自然科学専門部事務局について
 - (8) 令和元年度事業計画案
 - (9) 令和元年度予算案
 - (10) 令和元年度理事選出
 - (11) 令和元年度高教研代議員選出
 - (12) 日本理化学協会功労者について
 - (13) 日本理化学協会群馬県支部役員について
 - (14) 令和元年度全国理科教育大会高知大会・第90回日本理化学協会理事会について
 - (15) 第49回関東理科教育研究発表会神奈川大会
 - (16) 理科教育談話会について
 - (17) その他 言語活動の充実について
- 研究大会 記念講演
- 演題「主体的・対話的な活動を取り入れた化学実験の例」
- 講師 日本理化学協会学術名誉理事
東京理科大学教授 井上正之 氏
- 歓送迎会・懇親会

6月18日（火）

第67回群馬県理科研究発表会

第1回運営委員会（群馬大学荒牧キャンパス）

○報告

(1) 第66回群馬県理科研究発表会報告

○協議事項

- (1) 開催日程案について
- (2) 開催要項・申込用紙案・予算案・使用会場案
プログラム・発表者数等について
- (3) その他
分担金・上毛新聞社・学生の手伝い等

6月21日（金）

令和元年度高教研代議委員会（高崎女子高校）

7月2日（火）

視察研修会

群馬県立東毛産業技術センター

無響室を中心に視察 参加者 11名

7月5日（金）

第49回関東理科教育研究発表会神奈川大会

各県代表者会議（神奈川県立青少年センター）

8月2日（金）

理科教育談話会（群馬大学桐生キャンパス）

参加者 大学側 22名・高校側 16名

8月7日（水）～9日（金）

令和元年度全国理科教育大会・

第90回日本理化学協会総会 高知大会

（高知県立高知追手前高等学校芸術ホール・

高知県立大学及び高知工科大学永国寺キャンパス）

○常務理事会・全国理事会

○文部科学省講話

演題 「これからの理科教育における授業づくりの視点」

講師 文部科学省 初等中等教育局

教育課程課 教科調査官

野内頼一 氏

○研究代表者会議ならびに研究協議会

○開会式・表彰式・総会

○記念講演

演題 「未来のコンピュータ～量子コンピュータの礎を築く～」

講師 東京工業大学 教授 西森秀稔 氏

○研究協議

○研究発表

○コース別研修

9月20日（金）

第2回役員会・理事会

（群馬県総合教育センター 物理実験室）

○報告事項

- (1) 令和元年度全国理科教育大会（高知大会）
- (2) 視察研修会

〈資料 1〉

- (3) 理科教育談話会
- (4) 部会費納入状況
- (5) 各部より

○協議事項

- (1) 群馬県理科研究発表会
- (2) 第 49 回関東理科教育研究発表会
- (3) 授業研修会
- (4) 「小さな実験」発表会
- (5) 地区主催研修会（西部地区・東部地区）
- (6) 日本化学会表彰者 萩原先生（富実）
- (7) 理化学部会の Web ページ
- (8) その他

1 0 月 1 5 日（火）

- 第 67 回群馬県理科研究発表会
- 第 2 回運営委員会（群馬大学荒牧キャンパス）
- 報告及び協議事項
- (1) 使用会場・プログラム・予算案・分担金・
当日日程・会場・係分担・発表テーマ等

1 1 月 8 日（金）

- 第 67 回群馬県理科研究発表会
- 第 3 回運営委員会（群馬大学荒牧キャンパス）
- 準備

1 1 月 1 0 日（日）

- 第 67 回群馬県理科研究発表会
（群馬大学荒牧キャンパス）
- 口頭発表 15 件（物理 11 件，化学 4 件）
- ポスター発表 18 件（物理・化学 8 件）

1 1 月 2 2 日（金）

- 第 49 回関東理科教育研究発表会神奈川大会
（神奈川県立青少年センター）
- 開会式
- 記念講演
演題 「生物学の常識（教科書）に挑む極限環境生物研究」
講師 海洋研究開発機構 研究センター長代理
兼 グループリーダー 布浦拓郎 氏
- 研究発表
発表者（4 名・5 件）

1 1 月 2 9 日（金）

- 西部地区主催研修会（高崎高校）
「沸点上昇実験の検討・家庭科コラボ授業」
参加者 15 名

1 2 月 1 2 日（木）

- 授業研修会（県立前橋高校）
物理・英語コラボ
- ① フックの法則の実験
～ the limit of proportionality ～
- ② 運動学の最初に等速度運動を学ぶ意義について
授業者 杉田俊也 教諭

キング・ヴィクトリア ALT

参加者 17 名（理化学 11 名・英語 6 名）

1 2 月 2 7 日（金）

- 東部地区主催研修会（桐生高校）
「電気・磁気分野の実験などについての検討や情報交換等」
参加者 10 名

1 月 2 9 日（水）

- 「小さな実験」発表会
（群馬県総合教育センター 物理実験室）
発表 8 件 参加者 9 名

2 月 1 6 日（日）

- 令和元年度日本理化学協会第 2 回全国理事会・
研究協議会（東京理科大学森戸記念館）
- 全国理事会
- (1) 全国大会について
- (2) 令和 2 年度予算について
- 研究代表者研究協議会
- (1) 講演
『『主体的・対話的で深い学び』をどう実現するか
～新しい授業を支える戦略・スキル・背景理論～』
講師 産業能率大学経営学部 教授
河合塾教育研究開発機構 研究員
小林昭文 氏
- (2) ブロック活動報告 等

2 月 2 0 日（水）

- 第 67 回群馬県理科研究発表会
- 第 4 回運営委員会（群馬大学荒牧キャンパス）
- 報告及び協議事項
- (1) 経過報告・会計報告
- (2) 反省事項・引継ぎ事項
- (3) 第 68 回発表会について

2 月 2 6 日（火）

- 第 3 回役員会・理事会
（群馬県総合教育センター 物理実験室）
- 報告事項
- (1) 令和元年度事業報告
- (2) 令和元年度中間会計報告
- (3) 第 67 回理科研究発表会
- (4) 令和元年度授業研修会
- (5) 令和元年度「小さな実験」発表会
- (6) 部会誌「群馬理化学」第 58 号
- (7) 第 49 回関東理科教育研究発表会
神奈川大会
- 協議事項
- (1) 令和 2 年度事業計画案
- (2) 令和 2 年度総会記念講演講師について
- (3) 令和 2 年度役員・地区理事案
- (4) 第 68 回群馬県理科研究発表会
- (5) 第 50 回関東理科教育研究発表会埼玉大会

3 月下旬 会誌第 58 号発行

令和元年度

理化学部会会計決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引増減	備考
繰越金	163,150	163,150	0	
会費	185,000	194,000	9,000	一般会員 1000円×194名、名誉会員5000円×0名
部会誌発行補助金	10,000	10,000	0	高教研より10,000円
助成金	40,000	40,000	0	教育公務員弘済会より40,000円
雑収入	0	2	2	利息2円
合計	398,150	407,152	9,002	

2 支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引増減	備考
事業費・負担金等計	169,000	144,800	24,200	
講演会講師謝礼金	30,000	30,000	0	
部会誌印刷製本費	100,000	74,800	25,200	
部会誌原稿料	0	0	0	
本部負担金	29,000	30,000	△1,000	理化学協会負担金 500円×60校
県理科負担金	10,000	10,000	0	理科研究発表会
事務運営費等計	229,150	36,656	192,494	
会議費	10,000	9,394	606	お茶代
旅費等	50,000	22,500	27,500	全国理科参加費
資料費	5,000	0	5,000	
通信運搬費	8,000	4,762	3,238	振込手数料、資料郵送代
消耗品費	5,000	0	5,000	
予備費	151,150	0	151,150	
合計	398,150	181,456	216,694	

3 残高

収入総額	支出総額	備考
407,152	181,456	次年度へ繰り越し 225,696 円

上記のとおり報告します。

令和2年 5月 13日

群馬県高等学校理化学部会

会長 高張 浩一

会計 高山 桂輔

監査の結果、適切と認めます。

令和2年 5月 14 日

会計監査

茂木 孝浩



比企 貴



(3) 令和2年度本部役員選出

選考委員長 長谷川忠史（高崎高校）
 選考委員 田島 健一（市立前橋高校）
 関口 賢司（桐生高校）

役 職	定 数	氏 名（所 属）
会 長	1	佐島 秋彦（渋川女子高校長）
副会長	若干	高張 浩一（館林高校長） 田島 公基（中央中学校長） 高橋 滋（渋川高校長） 二渡 諭司（前橋高校長） 城代 貴浩（市太田高校長） 岩田 悦夫（高崎東高校長） 高尾 博（玉村高校長）
監 査	2	比企 貴（市立前橋高校） 茂木 孝浩（富岡高校）

(4) 令和2年度 書記・会計の委嘱、新顧問・新名誉会員の推薦

書 記	若干	星野 貴紀（渋川女子高校）
会 計	若干	登坂 健志（渋川女子高校）

顧 問	若干	田中 幸雄（高崎高校教頭） 秋田 千芳（太田高校教頭） 栗原 隆（あさひ特別支援教頭） 徳江 和彦（高崎高校通信制教頭）
-----	----	---

新名誉会員	
-------	--

(5) 令和2年度各部担当地区の決定、地区役員の選出

部 名	業 務	地区	部長（所属）	副部長（所属）
研修調査部	授業研究会、研修視察 協会本部調査、部会調査 等	西	長谷川忠史 （高崎）	中島 康彦 （高崎）
会誌編集部	会誌原稿依頼、編集、印刷、配本 等	東	関口 賢司 （桐生）	神戸 圭介 （桐生女子）
庶 務 部	総会等会議運営、理科教育談話会 理科研究発表会 等	中北	田島 健一 （市立前橋）	大山由里恵 （四ツ葉中等）

(6) 令和2年度授業研修会担当地区

東部地区（化学）

(7) 令和2年度自然科学専門部事務局（決定事項）

生物部会

参考 令和元年度 群馬県高等学校教育研究会理化学部会役員および理事名簿

【本部役員】

役 職	定数	氏 名 (所 属)	
会 長	1	高張 浩一 (館林高校長)	
副会長	若干	田島 公基 (伊勢崎清明高校長)	高橋 滋 (渋川高校長)
		二渡 諭司 (前橋工業高校長)	佐鳥 秋彦 (渋川女子校長)
		栗原 正 (伊勢崎高校副校長)	城代 貴浩 (太田フレックス高校副校長)
監 査	2	比企 貴 (市立前橋高校)	茂木 孝浩 (富岡高校)
顧 問	若干	岩田 悦夫 (中央中等校教頭)	田中 幸雄 (高崎高校教頭)
		栗原 隆 (あさひ特別支援教頭)	高尾 博 (藤岡工業高校教頭)
		秋田 千芳 (藤岡中央高校定時制教頭)	
書 記	若干	竹澤 義衛 (館林高校)	
会 計	若干	高山 桂輔 (館林高校)	
名 誉 会 員	10 年 掲 載	横堀 新一 (H21 年度末退職)	品川 和男 (H21 年度末退職)
		田中 勇一 (H22 年度末退職)	木村 哲嗣 (H22 年度末退職)
		田村 吉廣 (H22 年度末退職)	梅原 秀樹 (H22 年度末退職)
		猪熊 仁 (H24 年度末退職)	石田 仁 (H24 年度末退職)
		増田 芳之 (H27 年度末退職)	武藤 正美 (H27 年度末退職)
		高橋 俊雄 (H28 年度末退職)	大谷 龍二 (H28 年度末退職)
		竹澤 義衛 (H29 年度末退職)	

各地区担当業務の経緯 (庶務は会長校の地区が担当し、部会長の異動時に見直す)

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
研修調査	東	西	西	東	東	東	東	西	西	西	西	西	
会誌編集	中北	中北	東	中北	中北	中北	中北	中北	中北	中北	中北	東	
庶務	西	東	中北	西	西	西	西	東	東	東	東	中北	
事務局	桐工	館林	前東	藤中	藤中	吉井	吉井	桐生	桐生	桐南	館林	渋女	
授業研修会				西化	中物	東化	西物	中化	東物	西化	中物	東化	

【令和元年度各部地区役員】

部 名	地区	部 長	学校名	副 部 長	学校名
研修調査部	西 部	長谷川忠史	高 崎	中島 康彦	高 崎
会 誌 編 集	中北部	田島 健一	市立前橋	大山由里恵	四ツ葉中等
庶 務 部	東 部	関口 賢司	桐 生	土屋 和尋	太 田
事 務 局	書記：竹澤 義衛 (館林)		会計：高山 桂輔 (館林)		

【令和元年度自然科学専門部事務局担当】

関口 賢司 (桐生)

令和 2 年度 事業計画（案）

- 4 月上旬 会員動向調査確認・名簿作成
- 4 月 21 日（火）第 1 回役員会・理事会（教育センター物理実験室）
中止。会計監査・事務引き継ぎのみ
- 5 月 10 日（日）令和元年度第 3 回日本理化学協会全国理事会・研究協議会 中止。
（東京理科大学森戸記念館）
- 5 月 27 日（水）令和 2 年度理化学部会総会・研究大会（教育センター 404 室）
中止。理化学部会 HP で意見集約。
- 以下の事業の実施・参加については学校再開の見通しがあれば検討する。**
- 6 月 日（ ）第 68 回群馬県理科研究発表会 第 1 回運営委員会
担当部会：生物・地学（群馬大学荒牧キャンパス）
- 6 月～7 月 視察研修会 → 群馬大学附属中学校公開授業と兼ねる。
- 6 月下旬 高教研 代議員会議（高崎女子高校）
- 7 月上旬 第 50 回関東理科教育研究発表会 埼玉大会 各県代表者会議 中止。
- 7 月下旬～8 月上旬 理科教育談話会（群馬大学桐生キャンパス）
- 8 月 5 日（水）～7 日（金） 令和 2 年度全国理科教育大会・熊本大会
第 91 回日本理化学協会総会
次年度以降に延期。今年度は研究発表を誌上発表で実施予定。
- 9 月下旬 第 2 回役員会・理事会（教育センター）
- 10 月上旬 第 68 回群馬県理科研究発表会 第 2 回運営委員会
（群馬大学荒牧キャンパス）
- 10 月 8 日（木）・9 日（金）群馬大学附属中学校公開授業（群馬大学附属中学校）
- 10 月 30 日（金）第 68 回群馬県理科研究発表会 第 3 回運営委員会
（群馬大学荒牧キャンパス）
- 11 月～12 月 授業研究会「化学」（東部地区）
- 11 月 1 日（日）第 68 回群馬県理科研究発表会（群馬大学荒牧キャンパス）
- 11 月 20 日（金）第 50 回関東理科教育研究発表会 埼玉大会 次年度に延期。
- 1 月 19 日（火）「小さな実験」発表会・共通テスト検討会（群馬県総合教育センター）
- 2 月上旬 令和 2 年度第 2 回日本理化学協会全国理事会・研究協議会
（東京理科大学森戸記念館）
- 2 月上旬 第 68 回群馬県理科研究発表会 第 4 回運営委員会
（群馬大学荒牧キャンパス）
- 3 月上旬 第 3 回役員会・理事会（教育センター）
- 3 月下旬 会誌第 59 号発行

令和 2 年度

理化学部会会計予算書

1 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	前年度決算額	比較増減	備考
繰越金	225,696	163,150	62,546	
会費	185,000	194,000	△9,000	会員1,000円×185人 名誉会員5000円×0人
部会誌発行補助金	10,000	10,000	0	教育研究会より10,000円
助成金	10,000	40,000	△30,000	教育公務員弘済会より10,000円(研究大会中止のため)
雑収入	0	2	△2	
合計	430,696	407,152	23,544	

2 支出の部

(単位：円)

科目	予算額	前年度決算額	比較増減	備考
事業費・負担金等計	140,500	144,800	△4,300	
講演会講師謝礼金	0	30,000	△30,000	研究大会中止のため
部会誌印刷製本費	100,000	74,800	25,200	
部会誌原稿料	0	0	0	
本部負担金	30,500	30,000	500	500円×61校
県理科負担金	10,000	10,000	0	自然科学専門部7,000円負担
事務運営費等計	290,196	36,656	253,540	
会議費	10,000	9,394	606	
旅費等	50,000	22,500	27,500	
資料費	25,000	0	25,000	視察研修参加費20,000円
通信運搬費	8,000	4,762	3,238	
消耗品費	5,000	0	5,000	
予備費	192,196	0	192,196	
合計	430,696	181,456	249,240	

(9) 令和2年度 理事選出

	地 区	定数	氏 名	所 属	氏 名	所 属
中北部	前橋 佐波・伊勢崎 渋川・吾妻 利根・沼田	5～ 6	須藤 大	前橋清陵	鈴木 悠一	利根実
			西山 晃弘	利根実	堀口 裕	前橋女子
			杉木 和明	尾瀬		
西 部	高崎・安中 多野・藤岡 甘楽・富岡	5	反町 純也	吉井	小沢 真理	中央中等
			川田 智広	高崎	中村 嘉宏	高崎北
			岡田 直之	藤岡中央		
東部	太田 桐生・みどり 館林・邑楽	5～ 6	鶴岡 雅志	桐生南	高野 優作	桐生
			亀田 絵理	西邑楽	竹澤 義衛	館林
			藤野 未来	太田東	高山 桂輔	館林

(10) 中北部と東部の理事定数の変更について。

教員数の減少により令和元年度の定数6から令和2年度は定数5～6として幅を持たせる。

参考 令和元年度 理事名簿

【地区担当理事】

	地 区	定数	氏 名	所 属	氏 名	所 属
中北部	前橋 佐波・伊勢崎 渋川・吾妻 利根・沼田	6	須藤 大	前橋清陵	鈴木 悠一	利根実
			西山 晃弘	利根実	堀口 裕	前橋女子
			平川 哲也	伊勢崎	高橋 正樹	前橋
西 部	高崎・安中 多野・藤岡 甘楽・富岡	5	大関 未来	吉井	小沢 真理	中央中等
			川田 智広	高崎	中村 嘉宏	高崎北
			岡田 直之	藤岡中央		
東部	太田 桐生・みどり 館林・邑楽	6	青木 紀仁	太田	神戸 圭介	桐生女子
			千本木 淳	桐生女子	鶴岡 雅志	桐生南
			亀田 絵理	西邑楽	今井 亮臣	館林女子

〈資料 7〉

(11) 令和 2 年度 高教研代議員

部会長を含み 4 名

佐島 秋彦（渋川女子高校長）	高橋 滋（渋川高校長）
高張 浩一（館林高校長）	星野 貴紀（渋川女子高校）

参考 令和元年度 高教研代議員

高張 浩一（館林高校長）	高橋 滋（渋川高校長）
田島 公基（伊勢崎清明校長）	竹澤 義衛（館林高校）

(12) 令和 2 年度 日本理化学協会功労者

田島 公基（中央中等学校長）	長谷川忠史（高崎高校）
----------------	-------------

参考 令和元年度 日本理化学協会功労者

高橋 滋（渋川高校長）

(13) 令和 2 年度 日本理化学協会群馬県支部役員

理事

◎は代表者、※は事務局長

◎	化	佐島 秋彦（渋川女子高校長）	※	化	星野 貴紀（渋川女子高校）
	化	田島 公基（中央中等教育学校長）		物	城代 貴浩（市太田高校長）
	物	二渡 諭司（前橋高校長）		化	岩田 悦夫（高崎東高校長）
	物	高橋 滋（渋川高校長）		物	高尾 博（玉村高校長）
	物	高張 浩一（館林高校長）			

研究代表者

物理	関口 賢司（桐生高校）	化学	前島 勢津（四ツ葉中学校）
物理	中島 康彦（高崎高校）	化学	長谷川忠史（高崎高校）
物理	茂木 孝浩（富岡高校）	化学	比企 貴（市立前橋）
物理	岡田 直之（藤岡中央高校）		

参考 令和元年度日本理化学協会群馬県支部役員

理事

◎は代表者 ※は事務局長

◎	物	高張 浩一（館林高校長）	※	物	竹澤 義衛（館林高校）
	化	田島 公基（伊勢崎清明高校長）		物	高橋 滋（渋川高校長）
	物	二渡 諭司（前橋工業高校長）		化	佐島 秋彦（渋川女子高校長）

研究代表者

物理	関口 賢司（桐生高校）	化学	徳江 和彦（前橋女子高校）
物理	中島 康彦（高崎高校）	化学	前島 勢津（四ツ葉中学校）
物理	茂木 孝浩（富岡高校）	化学	長谷川忠史（高崎高校）
物理	岡田 直之（藤岡中央高校）	化学	比企 貴（市立前橋）

令和 2 年 4 月 24 日

日本理化学協会コロナ対策(その 2)

―「2020 誌上研究発表大会」―

令和 2 年度全国理科教育大会 第 91 回日本理化学協会総会」の実施等について

日本理化学協会

会長 関 俊秀

事務局長 塚越 博

(1) 今年度の大会について

本会は 90 年以上続く会であり、たゆまぬ研鑽を続け資質・能力の開発・向上に努める理科教員を支援する上からも日々の研究成果を発表する場を設けることは本会の重要な使命の一つでもあります。そこで、今年度については、熊本大会を延期し、「2020 誌上研究発表大会」として実施します。ただ、このような状況下ですので事務局が中心となって会長と連絡を取り、関係する大会役員と連絡を取りつつ決めざるを得ない面が多々出てくると思います。ご理解のほどよろしくお願いします。

(2) 今年度の計画

- ① 今年度の大会は「2020 誌上研究発表大会」として実施する。会誌を発行する。
- ② 後援依頼及び協賛賛助依頼は実施する。ただし、大会形態が変わることを明示したうえで、後援及び協賛賛助を依頼する。
- ③ 後援団体、協賛賛助団体の会誌での広告掲載等は通常大会の会誌 1 号と同様とする。
- ④ 大会役員は副会長、近県代表理事、本部役員(各部部长・委員長等)とする。
- ⑤ 本大会の会誌は、従来の会誌 1 号、2 号、研究発表論文(資料)集をまとめて、「2020 大会誌」として作成し、発行する。
- ⑥ 研究部による大学入試センター試験についての意見及び調査部による各支部へのアンケート調査の結果とその整理については、研究紀要 52 号に掲載する。
- ⑦ 大学入試問題検討委員会の報告文を作成する。
- ⑧ 研究発表は誌上发表とする。なお、発表の要項は熊本大会案内を準用するが期限等改めて事務局より発信する。
- ⑨ 特別功労賞・教育功労賞は誌上表彰とする。従って各支部から推薦をお願いします。なお、支部によって来年まとめでの表彰を希望する場合はそのようにしていただくことも可能です。
- ⑩ 協会賞については、研究部と近県代表理事からなる選考委員会によってメールを使って事務局で集約して選考し、選考した先生の中から推薦文をお願いします。
- ⑪ 各表彰者の写真等については表彰者から証明書サイズの写真を送って頂いたものを編集して掲載する。
- ⑫ 今年度の事業計画は、庶務部が中心となり事務局と相談して作成する。

- ⑬ 経理部は事務局と相談しつつ今年度の予算を作成する。
- ⑭ 誌上大会誌の作成は広報編集部が事務局と連絡を取りつつ行う。また、例年に倣い、研究紀要の作成や、一堂に会して行う全国大会ができないので各支部の連絡号的な会報の作成を行う。
- ⑮ 事務局は支部名簿作成や、本部名簿の作成を行い、本部、各支部間の連携が取れるようにしておく。また、会誌作成に関して、推薦者・表彰者の取りまとめ、本部分の原稿の取りまとめ、参加者募集の誌上大会要項の作成と支部へのメールの発信等を行う。また、教育情報委員会を通して HP への掲載や誌上大会誌の発注等を行う。
- ⑯ より多くの会員が研究発表の投稿ができるように、各支部で支部の会員に働きかける。
- ⑰ 誌上研究発表大会へより多くの会員に参加して頂けるように、誌上発表者以外にも、資料代として 3000 円を支払った方を 2020 大会の参加者として扱い、2020 大会誌を送付し、令和 2 年度大会参加者として記録する。
- ⑱ 大会宣言については 2020 大会誌に載せる。

(3) 今後の大会について

日本理化学協会規約の内規 4 ブロック等に関する申し合わせ事項 総会及び全国理科教育大会開催権の予定 を改定し 令和2年以降の開催県等を1年ずつ延期する。

令和3年度 熊本大会、令和4年度 北海道大会、令和5年度和歌山大会となる。

(4) その他

- ① 4 月の部長会、5 月の全国理事会は、一堂に会して会議をすることは中止とする。
検討はメール等により行い、必要な部分は連絡を取り合い、確認事項を文書化して各支部に配信する。
- ② 研究協議の扱いについては、企画運営部等の意見を聞いて今後の方向性を決定するが、今回はなしとするのも一つの方法であると考えている。

以上

令和2年5月11日

関東各県理科関係団体
代表者 各位

埼玉県高等学校理化研究会 会長
第50回関東理科教育研究発表会
準備委員長 水石 明彦
(埼玉県立浦和高等学校長)

第50回関東理科教育大会埼玉大会について

日頃より本会の運営につきまして、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、第50回関東理科教育研究大会埼玉大会は、昨年11月の神奈川大会でご案内申し上げた通り、今年11月の開催に向けて準備を進めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス・パンデミックに伴い、現在も学校の休校措置が継続され、私たち教員も原則、在宅勤務という状態が続いております。

先日、各県事務局から今年度関東大会の在り方についてのご意見を頂きました。「関東理科教育研究会細則の2 発表会の開催県に関する項目の② ただし、特別の事情がある場合は、その都度協議する。」とあることから、今回の新型コロナウイルス・パンデミックはその特別な事情に該当するものと判断し、いただいたご意見をもとに、関東大会準備委員長をはじめ事務局等々で慎重に検討をしてまいりました。

その結果、開催県として今年度の開催は困難との結論に至り、令和3年度開催県である茨城県にも事前にご了解を頂き、今年度の関東大会を来年度に延期させていただくことといたしました。

これに伴い、令和3年度にスライドして埼玉大会を実施し、令和4年度茨城県、以降、群馬、千葉、山梨、栃木、神奈川の順で開催していただくことでご了解いただけますようお願い申し上げます。

現在、目の前の学校運営をどうするかということで、多くの先生方がご苦勞をしていることと存じますが、来年度には今年度の経験を活かし、多くの先生方と理科教育の在り方についての意見交換ができますことを楽しみにしております。

書面によるご連絡で申し訳ありませんが、何とぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

大会事務局
川越市立川越高等学校
事務局長 藤井 喜英
Tel 049-243-0800
e-Mail city-kawagoe@hotmail.co.jp